



その他

☑ **気象予報士** **国家** **業務**

合格率5%の超難関資格 異常気象で活躍の場拡大

天候リスクへの関心が広がり、気象予報士の将来性は今後高まりそうだ。

2021年、NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」

の題材にもなり、改めて脚光を浴びている資格が気象予報士だ。同年8月試験の申請者数は4117人で、8年ぶりに4000人を突破した。合格率は過去56回の平均で5・5%の難関資格にもかかわらず、

人気が再燃しているようだ。気象予報士は1994年に生まれた気象に関する唯一の国家資格だ。前年の気象業務法改正で天気予報の発表が民間にも開放された。資格取得者は気象庁が発表する観測データを基に気象予測を行い、その情報を提供できる。

人気の背景にあるのは昨今の異常気象。地域防災はもちろん、レジャーなど産業の事業リスクを下げる意味でも気象予報ニーズが高まっている。三井住友海上火災保険は21年、「25年度までに社内の気象予報士を現在の5人から50人に増やす」と発表。保険引き受けのリスク分析などに活かす狙いだ。お天気がキャスターのイメージが強いが、活躍の幅は思いのほか広い。

最強学習法

試験は1月と8月の年2回実施される。試験科目は「学科試験」と「実技試験」。学科試験は予報業務に関する「一般知識」と「専門知識」の2つに分かれる。

気象予報士受験の教室「夢☆カフェ」を主宰する中島俊夫氏は、

学習法のポイントとして「まずは学科合格を目指して基礎を固めるべきだ。ただ暗記するのではなく、理解することが大切」と話す。学科はマークシートだが、「一般知識では物理などの基礎を理解し、十分に使えるまでになっておく必要がある。丸暗記やうろ覚えでは、結局、次の実技試験でつまづいてしまう」（中島氏）という。

実技試験は実際の天気図や観測データを複数見ながら、高度な予測技術を問われる。例えば高度別の複数枚の天気図などが配付され、それに基づいて「日本の南海上にある台風の強さと大きさを記述せよ」などの問題が出される。

学科、実技の試験対策としては、とにかく過去問を大量に解いて問題に慣れることが肝要。とくに実技は解答者が天気を予測するといふより、「出題者がどう天気を予測したか」の見解を解説するニューアンスの問題が多いからだ。

21年8月の第56回気象予報士試験に合格した紺谷大進氏は「1年間で過去10年分、650題の過去問を解いたのが役立った」と振り返る。「大体3年間は同じ出題者が担当する。過去問を繰り返し解

「気象予報士」合格ガイド

試験科目	学科(多肢選択式): <予報業務に関する一般知識> 大気構造・熱力学、降水過程など <予報業務に関する専門知識> 観測の成果の利用、数値予報、気象災害など 実技(記述式): ①気象概況及びその変動の把握、②局地的な気象の予報、③台風等緊急時における対応		
総学習時間	800~1000時間	費用	約7万~30万円
推薦テキスト	『イラスト図解 よくわかる気象学』『同【専門知識編】』(ナツメ社)、『一般気象学』(東京大学出版会)、『気象予報士試験サクサク勉強法』(中央経済社)		
合格率、受験者数	4.2%、2,920人(2021年8月)		
合格基準	学科: 一般・専門知識とも15問中11問以上 実技: 満点の70%以上		

(注)費用は通信教育や塾なども含む

くと、出題者の観測の好みが見えてくる」（紺谷氏）ようだ。また、「資格取得を目指す仲間と毎週、実技の過去問の答え合わせをしたのもよかった。自分とほかの人の予測のズレを客観的に捉えられ、修正できた」（同）。

学科試験（一般・専門知識）はどちらかでも合格すると、1年間（2回の試験）は該当科目が免除



人気講師が教える必勝法 文理に偏らない柔軟性と 素直な人が合格しやすい

▶「夢☆カフェ」講師 中島俊夫

撮影：梅谷秀司

お 天気キャスター、防災関係者、学生、理科の先生など気象予報士試験の受験者は実に幅広いが、合格しやすい人には共通点がある。“素直で柔軟な人”だ。

なぜかという、気象予報士の実技試験は天気図など気象データを基に問いに答えるもの。「私はこう予測する」を問われていない。「出題者がどう予測したか」を答える。

「その解答は納得がいかない」「そんな予測をするのはおかしい」と、持論を曲げられない人はかなり苦労する。また、計算式や物理式も出てくるので理系が有利と思われるが

が、予測を文章でわかりやすく伝える表現力も不可欠。文理に偏らない柔軟性、バランス感覚が必須だ。

キャリアに関しても近いことがある。民間気象会社のみならずレジャーやスポーツ、エンタメ、保険など、局地的な天候がリスクにつながる業界は多い。こうしたニーズを見込み、自ら売り込めるような柔軟な人こそ活躍できるのではないか。気象予報士はまだまだブルーオーシャンの資格だと確信している。

なかじま・としお 1978年生まれ。2002年資格取得。大手気象会社を経て、私塾「夢☆カフェ」開設。

になる。難関資格だけに学科と実技に一発合格するのはかなりハードルが高い。まずは学科合格に集中。2つの学科を免除された状態で実技試験に目標を絞って勉強するなど、戦略的に臨みたい。

合格後のキャリア

気象予報士は21年12月時点で日本に1万1098人いる。資格取

得後のキャリアパスで華々しく目立つのは、やはりテレビなどに頻りに登場するスター的な気象予報士だ。トップとなれば1億円に近い年収を稼ぐ人もいるという。しかし最も一般的な活躍の場はウエザーマップやウエザーニューズといった民間の気象会社だ。天気を予測する予報業務もあるが、それ以外に気象に関係するシ

ステム開発やアプリ開発のニーズも高い。気象予報士×ITエンジニアや気象予報士×UXデザイナーといったプラスアルファの技能があると、転職にも有利だろう。もちろん、自治体などの公共機関でも防災や危機管理などの部門で気象予報士は活躍している。中でも気象庁は「気象防災アドバイザー」と銘打ち、気象予報士を全

国の自治体の防災アドバイザーとして配置する施策を進めている。さらに損害保険のように気象によるリスク計算が重要な業界も少なくない。異常気象に伴う防災対応と情報発信の重要性は高まるばかり。気象予報士はメディアに登場するだけでなく、多様な産業に広がっていくことが予測される。

(ライター 箱田高樹)

合格者のリアルボイス

気象神社で初の資格者 希少性生かし挑戦したい

高円寺氷川神社・気象神社 裨宜 紺谷大進



撮影：今井康一

神 職を務める高円寺氷川神社には、日本で唯一の気象神社もある。映画『天気の子』にも登場した。「気象神社の神職が気象予報士になれば面白い」と勧められ、2020年6月に一念発起した。

コロナ禍で時短受付になり時間が捻出できたことも大きい。「夢☆カフェ」で学び、ひたすらテキスト読みと過去問に取り組んだ。1年強で約1900時間は勉強に費やした。

学科は勉強を始めてからわずか2カ月後に合格。しかし翌年1月の実技試験はひどい成績で不合格だった。その後は過去問も続けつつ、再度、

学科試験の範囲をアカデミックに捉え直して勉強した。「実際に使える」ところまで理解するためだ。

結果、21年8月の試験で合格。実技は問題も多く試験時間は75分と短い。事前勉強で全問を60分で解き、15分は見直しに使う練習をした。スピードに慣れたことも奏功した。

気象予報士は全国に約1万人。神職は約2万人いるが、気象神社の神職で気象予報士は私だけ。希少性を生かして、新しいことに挑戦したい。

こなたに・だいしん 1979年生まれ。双日でロシア駐在も経験。2018年から神職。21年、42歳で気象予報士試験合格。